

ハマオミナエシ

オミナエシ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

Patrinia scabiosifolia Fisch. ex Trevir. var. *crassa* Masam. et Satomi

国カテゴリー

該当なし

選定理由

オミナエシの海岸型変種で、生育地、個体数ともに少ない。(現況:R-)

形態

茎は高さ20~40cm。花冠は黄色、径3~4mm。果実には翼状の小苞はない。基本種のオミナエシに比べて、丈が低く、葉が厚く、表面に光沢がある。

国内分布

北海道、本州。

県内分布

中能登区。

生育環境

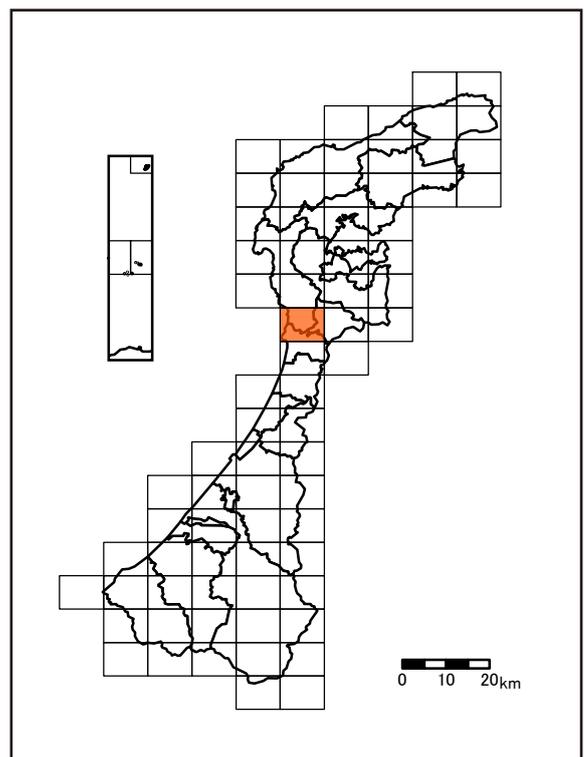
海岸の草地。

危険要因

園芸採取、自然遷移、産地局限。



白井伸和・2007年8月23日・羽咋市



県内の分布